



2025 教員採用試験秋募集結果 続報

川崎市教員採用試験秋募集に合格しました。来年に向け、はずみのつく出来事で締めくくられました。今年、秋募集を始める自治体が増えています。来年度も、気になる自治体の情報は要チェック！採用試験結果で、職は決まりますが、人生のすべてが決定するわけではないのです。皆さんの人生はまだまだ、続きます。来年も多くのことに挑戦し続けてください！

これから出会う生徒の人生も長い。けれど、生徒はたった十数年の人生や生きてきた環境で、今後の希望や自分の価値を測ってしまいがちです。【人生は山あり谷あり】です。生徒には、躓いた時こそ自分を大切に前を向くことを、自分を信じて挑戦し続けることを教えて欲しいです。皆さんは、信じる人になって欲しいのです。教職を目指し、教職に携わる皆さんは、多くのことに興味を持ち挑戦をし、挫折や困難にあっては、どのように乗り越えていこうかと、もがき乗り越え、強くたくましくなってください。平坦な道より、感動があるはず。強い人は他人に優しくなれます。そして、期待すること待つことに寛容になれるはず。良い年となりますように。

教採合格者体験談発表会

11月29日(土) 合格者体験発表会は、キャリア選択の方法の前例として、進路を考える学生たちに、道筋を見せる有意義な会でした。

発表者4人は、自分の実践例を自分のことばで伝えていました。模擬授業や面接練習での緊張やドギマギ感は微塵も感じさせず、皆堂々と周囲を見渡し、発表の間のとり方、目線の送り方に成長を感じずにはいられませんでした。きっと、教壇に立つ日もこのように笑顔で生徒たちと向き合えると確信しました。

実践から得るものは、机上の論よりも、多くの学生の心が確実に動かすものですね。

就活とゼミの研究との両立の疲弊、受験を決めるまでの心の葛藤に、多くの学生が頷き共感していました。学校支援員の体験で生徒からももらった感謝の言葉は、学生の心にグッと刺さった様でした。会終了後に、詳細を尋ねる学生や具体的応募方法を尋ねる学生もいました。また、ここで、教職を考え始めた学生や、学校支援員を考える学生、多自治体の受験を考える学生が、教職課程センターへ来室しています。

教採説明会 & 卒業生を囲む

12月6日(土) 卒業生を囲む会では、現職若手教員4名を招聘して、教職を履修している3年生が、不安や疑問を聴くだけでなく、教員のリアルを知ることができる会でした。卒業生は、異なる職場で異なる環境で、一人ひとりが、生徒を育てている日々、誇りとやりがいを持って取り組んでいることが伝わりました。その生き生きと語っている様子に、先生方は、大変頼もしく見守られていました。次はあなた！

小論文指導について

評価の観点	テーマの把握	① テーマを深く理解しているか
		② テーマに関する知識や見識はあるか
	表現力	③ わかりやすく適切な表現をしているか
		④ 内容に具体性があるか
	論文の構成	⑤ 説得力のある構成になっているか
		⑥ テーマについて自分の考えを述べているか
	教員としての資質	⑦ 教員としての適性が感じられるか

左記は、小論文の評価の観点です。

【テーマに正対する】は①②にあるように、そのテーマの背景や、その根拠となる公的発出文章やデータを適切かつ明確に提示することです。この背景を知るとは、テーマが変化しても対応できる力となります。だから序論は大切！

東京都2026「児童・生徒が互いのよさを見つけ、多様な考えを尊重し合う」は、

東京都教育ビジョンに照らすと、①どのような時代背景に②どのような生徒を育てることが③なぜ重要なのかを序論で語るのです。これを指定の文字数の中で、以前提示した配分内で書き上げます。